

DIOCESE OF NIIGATA
656 Ichibancho, HigashiOhata-Dori
Chuo-ku, Niigata-shi 951-8106 Japan

カトリック新潟司教館
〒951-8106 新潟市中央区東大畑通一番町656
Tel.025-222-7457 Fax.025-222-7467

東日本大震災の発生から4年を迎えるにあたって

新潟教区の皆様

歴史に残る巨大な地震と津波が、主に東北の地を襲った2011年3月11日から、まもなく4年となります。あらためてこの大災害で生命を落とされた方々と、その後の復興の過程で亡くなられた方々の永遠の安息をお祈り申し上げます。

ご存じのように、被災地における復興の歩みはゆっくりと進行していますが、原子力発電所の事故の影響が残る福島県内では、将来を見通すことが難しい状況が継続しています。復興庁の統計によれば、今年1月末の段階で被災地からの避難生活を送っている方々の総数は23万人を数え、未だに多くの方々が普通の生活を取り戻すことが出来ずにいます。

日本のカトリック教会は、仙台教区が中心となり、それを側面から支える形で復興支援を続けてきました。国内外からの募金をいただいているカリタスジャパンは、被災各地での教会の復興支援活動を継続して支えています。司教団は昨年2月の司教総会で、全国の教会を動員した復興支援活動をさらに3年継続することを決定していますが、支援の現場からはさらに息の長い支援活動を求める声が多数寄せられています。かつて「絆」という言葉が何度も聞かれましたが、避難生活を続けられる方々の生命をつなぐ「絆」が、いまこそ必要とされています。

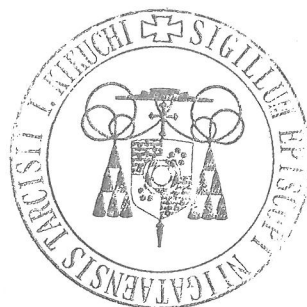
新潟教区では、仙台教区と隣接する地理的状况から、新潟市にセンターなどを設けて支援活動を行っていませんが、各小教区や地区においてそれぞれ可能な支援活動を行うようお願いして参りました。教区全体としてはカリタス担当の町田正師(寺尾教会)が、そういった支援活動の情報とりまとめを行って参ります。これからも、是非、それぞれの地域で可能な復興支援活動を続けてくださるようお願いいたします。またそういった活動の継続について相談のある場合には、町田師にご遠慮なくもお申し出ください。

さて、4年目に当たる3月11日は休日ですので、その直前の日曜日である3月8日に、新潟教区内のそれぞれの教会・修道院のミサにおいて、東日本大震災で亡くなられた方々のために、また復興のためにお祈りくださるようお願い申し上げます。

主日ミサ以外にも、それぞれの小教区・修道院で、祈りの活動が計画されることを望んでいます。

福音に照らされた希望の光が、被災の地にあって輝きますように、ともにお祈りいたしましょう。

2015年2月18日



カトリック新潟教区 司教
タルチシオ 菊地功

十 菊地 功 *Tarcisio Kikuchi*